

第2期小諸市子ども・子育て支援事業計画(素案)に対するパブリックコメント

	内 容	回 答
意見1	<p>現在、小諸図書館にはたくさん子ども達が本を借りるためだけではなく利用しています。子育て世代の利用も多くあります。</p> <p>居場所として、子育て情報の拠点として、支援する場として、様々な機能を有しています。</p> <p>事業計画の中に「市立小諸図書館」が入っていないのは非常に残念です。</p> <p>「第4次子ども読書活動推進計画」においても、子育て支援を視野に入れた取り組みを行うように明記されています。</p> <p>ぜひ、図書館も支援の場として、事業計画に入れてください。</p> <p>ブックスタート事業も子育て支援の一つだと考えます。</p>	<p>市立小諸図書館の子育て支援施策について、計画に追加します。</p>
意見2	<p>ニーズ調査結果⑥小諸市の子育て支援について期待することの項目で「親子でも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」という回答数が平日利用の施設や質の充実を希望する値よりはるかに上回っている＝休日市内で時間を過ごせる魅力的な場所が少ないという実態を小諸市がどう受け止めているか知りたいです。</p> <p>法に則った最低限のハード面、ソフト面はほぼ確立されていると思います。子育て世代が市に何を望むのか、小諸市独自の魅力的な子育て支援が欲しいです。</p> <p>若い子どもが巻き込まれる事件、事故等が増え続けています。教育現場の中で安全、セキュリティ面の強化がもう少し基本方針の中でクローズアップされるべきなのではないでしょうか。通学路の整備、安全確保だけでは不十分です。学校、幼・保育園、子どもセンター等で不審者の侵入など様々なケースを想定した施策がもっと必要だと思います。加えて感染症対策も必要だと今感じています。</p>	<p>ニーズ調査結果は子育て支援施策を検討するうえで、重要な市民の皆様からの声であり、第2期小諸市子ども・子育て支援事業計画策定の基礎としています。</p> <p>小諸市の子育て支援について期待することの質問に対する回答として、「親子でも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」という回答が多いことは認識しておりますが、新たな施設の建設には多大な費用も掛かることから、既存施設である子どもセンター(こもロッジ)の利用促進や、親子わくわくフェスティバル等のイベントの開催なども魅力ある子育て支援につながるものと考えます。現在取り組んでいる子育て支援策を進めながら、時代のニーズにあったサービスにするための見直しや新規事業の検討も必要だと考えています。</p> <p>また、ご意見のとおり子どもを事件・事故から守ることは何よりも優先されるべきものであると考えていますので、基本方針はもとより、施設の地域性や周辺環境等も踏まえ、状況に応じた個別の危機管理対策を進めることも必要だと考えます。</p>